

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

| | |
|--------------------------|---|
| 施設名称 | 千葉市蘇我スポーツ公園 |
| 条例上の設置目的 | 都市公園法に基づく都市公園施設 |
| ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性) | <ul style="list-style-type: none"> ・広域的なスポーツ拠点及び市民スポーツ振興の拠点として、それぞれの施設の特徴を生かし、大規模な大会から市民の利用まで幅広く受け入れ、市におけるスポーツ・レクリエーションの振興を図り、市民の健康・体力づくりに寄与するとともに、地域コミュニティとしての交流機能を発揮するための拠点となる施設を目指す。 ・蘇我球技場を中心に、集客スポーツ施設としてトップスポーツの誘致や大規模イベントの開催など地域（経済）活性化に寄与する。 ・千葉市蘇我スポーツ公園全体が防災拠点として位置づけられていることから、災害時の防災拠点となる施設を目指す。 |
| ミッション (施設の社会的使命や役割) | <ul style="list-style-type: none"> ①市民の競技スポーツ育成・発表の場として、スポーツの振興、競技力の向上又は市民交流の拠点施設として、市民総体や全市規模の大会の誘致開催を目指すとともに、市民のスポーツ利用の場を提供する。 ②蘇我球技場を中心に、トップスポーツの拠点施設として、ホームゲーム開催やホームタウンの推進に寄与する。 ③市民のスポーツ・レクリエーション振興のため、また地域のコミュニティの場として、市や区の催しや大規模なイベント等の開催場所を提供する。 ④非常時には広域防災拠点として、その機能を発揮できるよう管理を実施するとともに、協力体制を構築する。 |
| 制度導入により見込まれる効果 | 本施設では、指定管理者制度導入により、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しつつ、本施設の提供する「市民サービスの向上」による利用者の満足度を向上し、「管理経費の縮減」による財政負担の軽減等の効果を見込んでいます。 |
| 成果指標※ | <p>蘇我球技場の成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 利用者数及び入場者数 ② フィールド稼働日数 <p>蘇我球技場以外のスポーツ施設の成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 利用者数 ② 施設稼働率 |
| 数値目標※ | <p>蘇我球技場の数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 345,000人/年 以上 ② 80日/年 以上 <p>蘇我球技場以外のスポーツ施設の数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 420,000人/年 以上 ② (1) 多目的広場 65%以上 (2) 庭球場 68%以上 (3) 第1多目的グラウンド 65%以上 (4) 第2多目的グラウンド 32%以上 (5) 円形野球場 52%以上 |
| 所管課 | 都市局公園緑地部公園管理課 |

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

| | |
|----------------------|------------------------|
| 指定管理者名 | SSP UNITED |
| 構成団体 (共同事業者の場合) | 株式会社千葉マリスタジアム |
| | ジェフユナイテッド株式会社 |
| | 日本メックス株式会社 |
| | 日本体育施設株式会社 |
| 主たる事業所の所在地 (代表団体) | 千葉県美浜区高浜4丁目12番2号 |
| 指定期間 | 令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年) |
| 選定方法 | 公募 |
| 非公募理由 | — |
| 管理運営費の財源 | 指定管理料及び利用料金収入 |

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

| 成果指標 | 数値目標※ | 令和4年度実績 | 達成率※ |
|---------------------|------------------------|----------|----------------|
| 蘇我球技場の成果指標 | | | |
| ① 利用者数及び入場者数 | 350,000人/年(345,000人/年) | 184,395人 | 52.7%(53.4%) |
| ② フィールド稼働日数 | 80日/年 | 62日 | 77.5% |
| 蘇我球技場以外のスポーツ施設の成果指標 | | | |
| ① 利用者数 | 450,000人/年(420,000人/年) | 507,906人 | 112.9%(120.9%) |
| ② 施設稼働率 | | | |
| 多目的広場 | 67%(65%) | 68.0% | 101.5%(104.6%) |
| 庭球場 | 68% | 58.9% | 86.6% |
| 第1多目的グラウンド | 66%(65%) | 60.2% | 91.2%(92.6%) |
| 第2多目的グラウンド | 32% | 44.0% | 137.5% |
| 円形野球場 | 52% | 35.1% | 67.5% |

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

| 指 標 | 令和4年度実績 |
|-----|---------|
| | |
| | |

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

| 費目 | | 令和4年度 | 【参考】 令和3年度 | 計画実績差異・要因分析 | |
|--------|----|---------|---------------|-------------|--------|
| | | | | 差異 | 主な要因 |
| 指定管理料 | 実績 | 228,685 | 230,121 | 実績－計画 | 0 |
| | 計画 | 228,685 | 230,121 | 計画－提案 | 0 |
| | 提案 | 228,685 | 230,121 | | |
| 利用料金収入 | 実績 | 176,883 | 167,247 | 実績－計画 | 26,210 |
| | 計画 | 150,673 | 149,180 | 計画－提案 | 0 |
| | 提案 | 150,673 | 149,180 | | |
| その他収入 | 実績 | 7,103 | 3,639 | 実績－計画 | 7,103 |
| | 計画 | 0 | 0 | 計画－提案 | 0 |
| | 提案 | 0 | 0 | | |
| 合計 | 実績 | 412,671 | 401,007 | 実績－計画 | 33,313 |
| | 計画 | 379,358 | 379,301 | 計画－提案 | 0 |
| | 提案 | 379,358 | 379,301 | | |

イ 支出

(単位：千円)

| 費目 | | 令和4年度 | 【参考】 令和3年度 | 計画実績差異・要因分析 | |
|--------|----|---------|---------------|-------------|---------|
| | | | | 差異 | 主な要因 |
| 人件費 | 実績 | 174,451 | 172,925 | 実績－計画 | 3,157 |
| | 計画 | 171,294 | 169,597 | 計画－提案 | 0 |
| | 提案 | 171,294 | 169,597 | | |
| 事務費 | 実績 | 11,450 | 10,561 | 実績－計画 | △ 4,135 |
| | 計画 | 15,585 | 16,225 | 計画－提案 | 0 |
| | 提案 | 15,585 | 16,225 | | |
| 管理費 | 実績 | 153,622 | 142,352 | 実績－計画 | 9,433 |
| | 計画 | 144,189 | 145,189 | 計画－提案 | 0 |
| | 提案 | 144,189 | 145,189 | | |
| 委託費 | 実績 | 48,290 | 49,460 | 実績－計画 | 0 |
| | 計画 | 48,290 | 48,290 | 計画－提案 | 0 |
| | 提案 | 48,290 | 48,290 | | |
| その他事業費 | 実績 | | | 実績－計画 | 0 |
| | 計画 | | | 計画－提案 | 0 |
| | 提案 | | | | |
| 間接費 | 実績 | | | 実績－計画 | 0 |
| | 計画 | | | 計画－提案 | 0 |
| | 提案 | | | | |
| 合計 | 実績 | 387,813 | 375,298 | 実績－計画 | 8,455 |
| | 計画 | 379,358 | 379,301 | 計画－提案 | 0 |
| | 提案 | 379,358 | 379,301 | | |

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

| |
|--|
| |
|--|

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

| 費目 | | 令和4年度 | 【参考】 令和3年度 |
|--------|----|---------|---------------|
| 自主事業収入 | 実績 | 118,073 | 57,260 |
| その他収入 | 実績 | | |
| 合計 | 実績 | 118,073 | 57,260 |

イ 支出

(単位：千円)

| 費目 | | 令和4年度 | 【参考】 令和3年度 |
|--------|----|--------|---------------|
| 人件費 | 実績 | 4,560 | 5,101 |
| 事務費 | 実績 | 2,776 | 3,074 |
| 管理費 | 実績 | | |
| 委託費 | 実績 | | |
| 使用料 | 実績 | 22,672 | 6,460 |
| 事業費 | 実績 | 65,460 | 36,209 |
| 利用料金 | 実績 | | |
| その他事業費 | 実績 | | |
| 間接費 | 実績 | | |
| 合計 | 実績 | 95,468 | 50,844 |

間接費の配賦基準・算定根拠

| |
|--|
| |
|--|

(3) 収支状況

(単位：千円)

| | | 令和4年度 | 【参考】令和3年度 |
|---------|--|---------|-----------|
| 必須業務 | 収入合計 | 412,671 | 401,007 |
| | 支出合計 | 387,813 | 375,298 |
| | 収支 | 24,858 | 25,709 |
| 自主事業 | 収入合計 | 118,073 | 57,260 |
| | 支出合計 | 95,468 | 50,844 |
| | 収支 | 22,605 | 6,416 |
| 総収入 | | 530,744 | 458,267 |
| 総支出 | | 483,281 | 426,142 |
| 収支 | | 47,463 | 32,125 |
| 利益の還元額 | | なし | なし |
| 利益還元の内容 | 公園全体で利益還元を算出するため還元なし。(別紙「利益還元計算シート」参照) | | |

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

| 評価項目 | 市の評価 | 特記事項 |
|--------------------------------------|------|---|
| 蘇我球技場の数値目標 | | |
| ①利用者数及び入場者数350,000人/年（345,000人/年）の達成 | E | 実績：184,395人 達成率：52.7%（53.4%） ※コロナによる大会等の中止、Jリーグの観客減等による影響 |
| ②フィールド稼働日数80日/年の達成 | D | 実績：62日 達成率：77.5% ※R4.12～R5.2照明工事による使用休止の影響 |
| 蘇我球技場以外のスポーツ施設の数値目標 | | |
| ①利用者数450,000人/年（420,000人/年）の達成 | B | 実績：507,906人 達成率：112.9%（120.9%） ※春夏2回の音楽フェス開催による利用者増 |
| ②施設稼働率 | | |
| 多目的広場67%（65%）の達成 | C | 実績：68.0% 達成率：101.5%（104.6%） |
| 庭球場68%の達成 | C | 実績：58.9% 達成率：86.6% |
| 第1多目的グラウンド66%（65%）の達成 | C | 実績：60.2% 達成率：91.2%（92.6%） |
| 第2多目的グラウンド32%の達成 | A | 実績：44.0% 達成率：137.5% |
| 円形野球場52%の達成 | D | 実績：35.1% 達成率：67.5% |

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

| 評価項目 | 市の評価 | 特記事項 |
|--------------|------|-------|
| 市の指定管理料支出の削減 | C | 提案額通り |

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
A：選定時の提案額から10%以上の削減
B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
（D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし）
－：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

| 評価項目 | | 自己評価 | 市の評価 | 特記事項 |
|----------|------------------------------------|------|------|--|
| 1 | 市民の平等利用の確保・施設の適正管理 | | | |
| | 市民の平等利用の確保 | C | C | |
| | 関係法令等の遵守 | | | |
| | リスク管理・緊急時対応 | | | |
| 2 | 施設管理能力 | | | |
| | (1) 人的組織体制の充実 | C | C | 【S】各種研修に積極的に参加し、職員の能力の向上を図っている。設備職員の専門資格取得も継続的に進めている。 |
| | 管理運営の執行体制 | | | |
| | 必要な専門職員の配置 従業員の能力向上 | | | |
| | (2) 施設の維持管理業務 | B | B | 【市】今年度より、利用頻度の高い区域の園地管理を直営で行い、良好な環境維持に努めた。また、積極的に美観の維持に努め、快適性・安全性に配慮した管理を行った。 |
| | 施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等 | | | |
| 3 | 施設の効用の発揮 | | | |
| | (1) 幅広い施設利用の確保 | C | C | 【S】開館時間については、イベント主催者等の希望に可能な限り答え対応を行っている。 |
| | 開館時間・休館日 | | | |
| | 利用料金設定・減免 利用促進の方策 | | | |
| | (2) 利用者サービスの充実 | C | C | 【S】モニタリングについては、未だ質、量とも不足している。次年度以降は計画的に実施するとともに、積極的に利用者とのコミュニケーションを図り、生の声を収集し、管理運営に活かしていきたい。 |
| | 利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング | | | |
| | (3) 施設における事業の実施 | C | B | 【S】コロナを警戒しながら徐々に各種事業の展開を再開している。 【市】春と夏の2回音楽フェスを開催。地元企業と協力し野球教室を開催。 |
| | 施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施 | | | |
| 4 | その他 | | | |
| | 市内業者の育成 | C | C | 【S】引き続き、市内の障がい者支援施設と連携した業務を継続して行った。 |
| | 市内雇用への配慮 | | | |
| | 障害者雇用の確保 | | | |
| | 施設職員の雇用の安定化への配慮 | | | |
| | 大規模災害時の対応 | | | |
| | プロスポーツ・競技団体との連携、 トップレベルの球技大会の開催 | | | |
| | 特別提案 | | | |

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 都市局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

| 意見の内容 | 意見対象年度 | 対応・改善の内容 |
|--|--------|---|
| 新たに供用した施設も含めて、公園全体を一体としたより良い管理運営に努めること。 | 令和3年度 | 昨年度まで委託していた植栽管理を一部自営で行い、一体的に公園内の美観向上に努めている。 毎年問題となる駐車場の混雑を回避するため、施設間で情報共有し、令和5年度行事調整の際に大型イベントのバッティングを避ける試みを開始した。 |
| フクダ電子アリーナの芝については、プロが使う球技場として更に徹底した管理をすること。 | 令和3年度 | Jリーグピッチ評価は昨年シーズンから変化がないが、資材及び使用方法等を検討した結果、芝の状態は向上しつつあり、試合による損傷の軽減に繋がっている。 |
| 音楽フェスの利用者だけでなく、運動施設本来の利用目的での利用者が増えるように努めること。 | 令和3年度 | 令和4年度も、新型コロナウイルスの影響で、大規模な大会の実施には様々な課題があり、大幅な利用者増へは繋がっていない。 令和5年度は様々な大会・イベントの開催を企画・実施していく。 |
| 音楽フェス等のイベントと運動施設本来の利用者数の考え方を分けて整理すること。 | 令和3年度 | 全体の利用者数と、音楽フェス・運動施設利用とに分けて数字を整理し、運動施設利用者の動向等を分析した。 別紙「音楽フェス利用者数」参照。 |

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

| | | |
|------|--|---|
| 実施内容 | 調査方法 | <p><フクダ電子アリーナ> 実施なし</p> <p><フクダ電子スクエア管理棟> 調査方法：①アンケート用紙を管理棟に常置 ②利用者にアンケート用紙を配布 調査期間：10/17～10/31、通年</p> |
| | 回答者数 | <p>回答者数：計393件（スクフィ257件、グラスタ66件、共通70件） 質問項目：性別・年齢・住まい・来場目的・Twitter、用品販売など</p> |
| | 質問項目 | <p><フクダ電子ヒルスコート> 集計方法：①アンケート用紙を管理棟に常置 ②大会時にアンケート用紙を配布 調査期間：10/1～10/31、通年 回答者数：計214件（期間132件、通年82件） 質問項目：性別・年齢・住まい・来場目的・Twitter、用品販売など</p> <p><SSPメルマガ> プレゼント企画にあわせてアンケートを実施（3回・応募総数143件）</p> |
| 結果 | <p>※10月に、全施設共通項目でアンケートを実施し、それぞれの施設での要望の聞き取りに努めた。</p> <p><フクダ電子スクエア管理棟></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いずれの施設も男性の割合が多い。 ・サッカーは半数以上が10代、野球は20代～50代の成人が多かった。 ・住まいは、サッカーは約半数、野球は77%が市内となった。 ・自由記述では、サッカーは人工芝の状態（フィールド）、雨除け・日除け、水道設備、早朝開放、シャワー設備、野球場でサッカーがしたいなどの要望が寄せられた。野球では備品の充実、グラウンド状態への意見、キャッシュレス決済導入、トイレ・水道・ベンチ・喫煙所の設置などの要望があった。 <p><フクダ電子ヒルスコート管理棟></p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間、通年アンケートのどちらも、女性の方が圧倒的に多い。 ・期間アンケートでは60歳以上のシニア層が半数以上、通年では20代～60代がほぼ均等。 ・市内在住者が非常に多く、ほぼ千葉県内で利用者が占められている。 ・自由記述では、人工芝の補修、予約に関する意見、駐車場への要望が多かった。 | |

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

| 主な意見・苦情 | 指定管理者の対応 |
|---------------------|---|
| フクダ電子フィールドの人工芝の状態不良 | 人工芝の耐用年数10年だが、フクダ電子フィールドは人工芝が特殊な使用となっているため、劣化が激しい（R5.6で設置7年となる）。 適宜、職員、業者による補修を行い対応している。 |
| 日陰・雨除けが少ない。 | 継続的な問題点。会議室を無料で利用し、熱中症対応を実施。突発的な雷発生時は、事前アナウンス、アリーナ軒下の開放を各施設連携して行い、避難誘導を行っている。 |

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

| | | | |
|------|---|----|--|
| 総括評価 | C | 所見 | 概ね管理運営の基準に則り、良好に管理運営を勧められたと考える。 但し、フクダ電子アリーナの集客人数については、入場制限が解除され回復傾向にあるものの、コロナ禍前の水準には程遠い。また、フクダ電子アリーナ照明工事の実施により、全国高校サッカー選手権が開催できなかったことも、目標未達の大きな要因として挙げられる。 しかしながら、JAPAN JAMに続き、ROCK IN JAPAN FESTIVAL2022を誘致し、文化振興、地域振興に大きな役割を果たしたと考える。 |
|------|---|----|--|

(2) 市による評価

| | | | |
|------|---|----|---|
| 総括評価 | C | 所見 | 令和4年度は、春と夏2回の音楽フェス、9月の九都県市合同防災訓練の会場となった。非常に過密なスケジュールのなか、市や主催者との調整・協議、園内の安全確保、団体利用調整に努めた。 園地管理を一部直営管理に移したことで、細やかな管理が行われ、美観の維持や利用者サービスの向上に貢献し、利用者からも高い評価を受けている。 一方で、フクダ電子アリーナのアンケートは、いまだ基準となる回数を実施できていない。その他の施設についても、改善を進めているところである。 成果指標等では基準に満たない部分もあったが、非常に高い水準での維持管理ができていない部分については評価できる。 |
|------|---|----|---|

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 都市局指定管理者選定評価委員会の意見

| |
|---|
| <p>(ア) 適切で細やかな管理運営が行われている。引き続き良好な管理運営をお願いしたい。</p> <p>(イ) フクダ電子アリーナの芝については、状態が良くなるように改善に努められたい。</p> <p>(ウ) アンケートについては、紙ではなく、携帯で手軽に実施できる仕組みなどを導入し、しっかりと利用者からの意見徴収をお願いしたい。</p> |
|---|